

じょうこうまさのり

上甲正典殿

■事績

三間町出身で、宇和島東高校・龍谷大学で野球部の選手として活躍。

昭和57年に母校・宇和島東高校野球部の監督に就任。

昭和62年の夏に甲子園初出場を果たすと、翌年には選抜大会にも出場。強力な牛鬼打線と上甲スマイルで初出場初優勝の快挙を成し遂げる。宇和島東高校を春夏合わせて11回甲子園に導く。

平成13年10月には済美高校の初代野球部監督に就任。一からチームを作り上げ、平成16年の春には初めてチームを甲子園へと導き、見事初優勝を飾る。

2校での初出場初優勝は史上初。またその年の夏には準優勝を飾る。

平成25年の春には、超高校級と言われる安楽智大投手を擁し、快進撃を見せ準優勝。

これまで甲子園通算17回出場、2回優勝、野球王国の名将として全国に知られる存在である。

教え子にはオリックス・平井正史投手、ヤクルト・岩村明憲選手、広島・福井優也投手ら9人のプロ選手がいる。

■主な戦績

- ・昭和63年：選抜高校野球大会優勝（宇和島東高校）
- ・平成16年：選抜高校野球大会優勝（済美高校）
- ・平成16年：全国高校野球選手権大会準優勝（済美高校）
- ・平成25年：選抜高校野球大会準優勝（済美高校）